

令和4年度 学校経営方針

第三中学校長 渡部 雅之

境港市学校教育の指針 「一人一人を大切にした質の高い学校教育の推進」

○校 訓 「創造」 「剛健」 「明朗」

○教育目標

『自分に対する信頼を高め、「頑張り」と「優しさ」を発揮する生徒の育成』

○めざす学校像

共感的な人間関係を大切にした、人間愛に満ちあふれた学校

○めざす教師像

常に自己研鑽を怠らず、人間愛に満ちあふれた笑顔の絶えない信頼される教師

1. はじめに

生徒たちは、これからの日本及び世界を担う重要な人材となる。AIの飛躍的進歩や Society5.0 の到来が予想される社会の劇的な変化は、価値観の変化や多様化をもたらすとともに、さらなるグローバル化が進み、「知識基盤社会」（激しい変化のなかで未知の課題に試行錯誤しながらも対応することが求められる社会）とも質的に異なる側面がある「知識集約型社会」になるとも言われており、これまで以上に人間自身が体験し、協働し、創造していくことに価値がある人間が中心の社会となり「人間としての強み」を高めることが求められる。そのために求められる力は1) 文章や情報を正確に読み解き、対話する力 2) 各教科固有の見方・考え方を働かせて考え表現する力 3) 対話や協働を通じて新しい解や「納得解」を生み出そうとする力などであり、指導においては、今まで以上に「知・徳・体」のバランスを図りながら、自ら目標を掲げ進んで学ぶ意欲をもち、課題を解決していこうとする向上心と強い意志を持った生徒の育成を図っていききたい。

昭和60年4月の創立以来、「創造」「剛健」「明朗」を校訓に掲げ、生徒、保護者、地域、職員が一体となって伝統と校風を築いてきた。生徒に関わるすべての教師が、教育に対する情熱と誠実さを忘れず、人間愛に満ちあふれた指導を軸として三本柱の「あいさつ・掃除・聴く姿勢」を大切に凡事徹底に努めていききたい。

2. 生徒の実態

生徒たちは素朴で人なつっこい。礼儀正しく、元気よくあいさつができる。部活動や清掃活動にも一生懸命取り組む。また、地域の行事やボランティア活動にも積極的に参加する生徒が多く、地域の方々からの評価も高い。

一方、行動観察や QU テスト、種々のアンケート結果などから、深く考え見通しを持って行動したり、自信を持って行動したりすることが苦手な生徒が多い。そこで、生徒個々の持っている長所や個性の理解に努め、それを認め、伸ばしていくことを生徒指導の中心に据えていききたい。

3. 本年度の努力点

『「共感」と「信頼」、自立のための指導』

→1人1人の子どもの人間性を受け入れて認め、ほめる、躰ける。

○自己肯定感、自己有用感を育む指導の徹底

- ・自分に対する信頼を高める指導の徹底
- ・全職員で全生徒を観察し、情報を共有して支援指導する体制づくり
- ・QUテストや生活アンケート、教育相談などあらゆる機会を通しての生徒理解
- ・命の大切さと尊さを一緒になって学ぶ体制づくりと WYSH 教育の充実
- ・いじめ、不登校の予防と早期発見・早期対応（目標値:不登校出現率3%以下）
- ・特別支援コーディネータの配置と9年間を見据えた就学指導体制の構築
- ・インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育・人権教育の充実

○夢の実現につなげる学力向上

- ・各教科、領域、学校生活での対話や会話を通じた**語彙の確実な習得**
→深い思考の土台、社会的自立の基礎
- ・お互いに認め合い、学び合うことができる**支持的風土の醸成**
- ・CRT、GTEC、学テ等結果の分析とそれを生かした個別指導の充実
- ・授業改善による学びに向かう力の向上
- ・GIGA スクール構想に基づく ICT 教育の推進と情報活用能力の育成
- ・主体的で対話的な深い学びの構築
- ・わかりやすい授業、学びたい授業への質の転換（ねらい・ヤマ場・まとめ）
- ・少人数指導による授業改善（ティームティーチング、習熟度別指導の充実）

○信頼される学校づくり（地域・家庭との連携）

- ・コンプライアンスの徹底、メソッドの実行
- ・生徒会活動の充実と自治力の育成
- ・CSとの連携と地域貢献→社会に開かれた教育課程の実現

○豊かな心を培う教育体制の構築

- ・共感と信頼にもとづいた指導の徹底
- ・伝統徳目である「あいさつ、掃除、聴く姿勢」の三本柱徹底（凡事徹底）
- ・道徳教育の充実（チームで作り上げる道徳実践）
- ・人間愛に満ちあふれた温かい教育の充実（個に徹底的にかかわる）
- ・子どもたちを中心に据えて考える教育